

基本的な感染症予防策の徹底

- 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット
- 最も効果が高い不織布マスクを着用
- 正しいマスクの着用（不織布マスクを推奨）
鼻と口を隙間なく覆う、鼻出しマスクやあごマスクはしない。
- 毎朝検温、健康観察
自宅で検温し体調管理アプリに必ず入力する。
咳、発熱、息苦しさ、喉の痛み、だるさ、頭痛、味覚障害・嗅覚障害等などの体調不良等の症状が一つでも見られる場合は登校せず、直ちに受診する。

教育活動中等の感染症予防策について

- 登校時の健康チェック
登校前に検温、校舎に入る前にサーモグラフィ等で再確認する。
- 教室等における密集の回避
生徒等同士の間隔を可能な限り確保する。
- 教室の常時換気を徹底
- 給食や休憩時間における感染症予防策の徹底
喫食の際、マスクは喫食直前に外し、喫食後は速やかにマスクを着用する。
生徒等が対面して喫食する形態を避け、会話はしない。黙食を徹底する。
休憩時間は、大人数、大声、至近距離での会話はしない。
- 放課後や休日における感染症予防策及び生活指導の徹底
授業終了後は速やかに帰宅する。
登下校中もマスクを着用すること。特に、会話をしながら、食べ歩きしない。
外出については、少人数で、混雑している場所や時間を避ける。
繁華街やカラオケ、ゲームセンター等に行かない。
友達の家で遊ばない。友達と会食しない。
旅行に際しては、基本的な感染防止策を徹底する。
食事中は会話をしない。
不要なアルバイトを控える。

家庭における感染症対策

- 感染リスクが高まる場面について、別紙2を確認の上、注意をお願いします。
- 外出は少人数で、混雑している場所や時間を避ける。都県境を越える移動の際は、基本的な感染防止策を徹底する。
- 繁華街に外出しない。
- 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット、不織布マスクの着用
- 毎朝検温、健康観察
家族に体調不良等何らかの症状が見られる場合は無理せず休養
- 生徒の健康チェック
登校前に生徒の体調不良等の症状が見られる場合は無理をさせず休養させる。
- 十分な換気、手が触れる場所等の消毒